

中部方面混成団

かけはし



MACB
QRコード
編集・発刊

中部方面混成団
本部広報室

Tel.077-523-0034

第五代中部方面混成団長着任



第5代団長深田 1佐



森下幕僚副長による紹介

平成一十七年四月一日、中部方面混成団長兼ねて、
大津駐屯地司令に深田尚則一佐が着任した。
団長は着任式で統率方針を「任務第一」とし、「任
務は我々にとって全ての行動の出発点であり目標でも
ある。常に任務を念頭に置き、任務を第一優先として
完遂しなければならぬ。」と述べるとともに、「情
熱」「凡事徹底」の二点を要望事項として挙げた。

生年月日

昭和三十六年三月十三日

出身地

兵庫県

主要勤務地

- 防衛大学校卒
- 第四施設群
- 幹部候補生学校
- 第十三施設群
- 幹部学校
- 施設学校
- 陸上幕僚監部人事部
- 陸上幕僚監部防衛部
- 米国陸軍第一軍団連絡官
- 幹部学校教官
- 東部方面総監部防衛部訓練課長
- 第四施設群長
- 第五旅団司令部幕僚長
- 東部方面総監部総務部長
- 関東補給処古河支処長

- (横須賀)
- (座間)
- (前川原)
- (俱知安)
- (目黒)
- (勝田)
- (市ヶ谷)
- (市ヶ谷)
- (米ヶ谷)
- (目黒)
- (朝霞)
- (座間)
- (帯広)
- (朝霞)
- (古河)

- 団長統率方針
「任務第一」
- 要望事項
「情熱」
「凡事徹底」



団長出迎え



駐屯地初度視察

武政一佐離任・退官

武政一佐は平成二十七年三十一日付けで、陸将補に特別昇任し、長い自衛隊生活に別れを告げられた。
武政前団長は、着任以来「視点が高く、目線は低く」と「地域とともに」の二点を要望され、部隊を統率し、また自らも実践された。三月三十一日には離任式が晴天の中挙行され、見送り行事では、駐屯地全隊員の盛大な拍手で見送られ、二年四ヶ月間勤務した大津駐屯地を後にした。



離任される武政将補



駐屯地全隊員による盛大な見送り

団射撃競技会



64式小銃射撃



射撃準備線での待機



89式小銃射撃



表彰式

団(団長 武政一陸佐)は、平成二十七年二月十四日(土)あいは野演習場基本射場において小火器射撃競技会を実施した。

競技会は、八九式小銃の部、六四式小銃の部に分かれて行い選手一人一人は、「必勝の信念」をもって、部隊・個人の名譽をかけ、日頃の練成の成果を發揮した。

結果については、下記のとおり。

成績

◎団体の部

●八九式小銃の部

優勝 第四陸曹教育隊
準優勝 第四十七普通科連隊

●六四式小銃の部

優勝 第二一〇教育大隊

◎個人の部

●八九式小銃の部

第一位 三曹 吉野 泰正 (四十七普通連)
第二位 二曹 松本 和昭 (四十九普通連)
第三位 二曹 玉浦 雅之 (四十九普通連)

●六四式小銃の部

第一位 曹長 田渕 泰良 (二一〇教)
第二位 三曹 山本 洋介 (二〇九教)
第三位 三曹 菊池 達也 (二〇九教)



一般曹候補生・自衛官候補生入隊



決意を新たにする女性自衛官候補生

桜満開の中、中部方面混成団(団長 深田一陸佐)に平成二十七年年度、一般曹候補生五六九名、自衛官候補生一二五名が入隊した。

新隊員は、第一〇九教育大隊(大隊長 佐伯二陸佐 大津駐屯地)、第一一〇教育大隊(大隊長 増田二陸佐 善通寺駐屯地)において六月末までの三ヶ月間自衛官としての基礎訓練を各駐屯地で受ける。

新隊員は、同期とともに、厳しい訓練を乗り越え、各種の練度判定合格を目指す。

平成二十七年年度 混成団に六九四人入隊



宣誓



記念会食

連隊創立16周年記念行事

第四十七普通科連隊



連隊は、二月二十八日に前卓志百万一心の会（連隊協力会）会長、寺尾憲治広島県隊友会会長、河端博四七〇B会会長、吉本雅一第二代連隊長等のご臨席を賜り、創立十六周年記念行事を開催した。



多数の来賓が出席された式典

式典において、前会長、寺尾隊友会長から心温まる祝辞を賜り隊員一同感謝と今後の更なる飛躍を誓った。引き続き行われた会食も含め成功裏に幕を閉じた。



OBとの懇談

混成団記念行事模擬戦展示にて万全を期す！

連隊は、二月十八日から十九日まで、防府分屯地（山口県）において第十三飛行隊の支援を受けリペリング実機訓練を実施した。

これは、五月に実施される混成団記念日行事の模擬戦に向けての事前練成訓練であり、担任となる第三中隊の井岡曹長以下

十名は、ヘリの構造・安全管理教育、リペリングロープの点検、縛着及び却下などを実施した。本訓練を通じて特殊却下能力向上を図り、記念行事模擬戦の要となる空路潜入の準備の資とした。本訓練の成果をより良く見ていただくためにも、当日の晴天を祈るものである。



第13飛行隊による安全教育



実機リペリング

即自業務充実に向けて

熱心な質疑



連隊は、三月四日と五日両日、海田市駐屯地において平成二十六年年度即応予備自衛官等担当者会議を実施した。この会議では、中国四国地区のほか兵庫・滋賀地本、また関係部隊の担当者を参集を得て、企業主等研修支援等の成果について説明するとともに意見交換を実施した。地本参加者から企業側

の「射撃訓練の研修を企業側に積極的にPRしたい」「企業訪問の際にLAV等を活用したミニ装備品展示やパネル展示について前向きに考えてほしい」などのコメントが寄せられた。「主催した担当者は今後とも関係地本と連携を図りながら即自出頭環境の改善に向け努力していきたい。」としている。

第四十九普通科連隊



連隊持続走競技会

連隊は、平成二十七年三月六日駐屯地近傍の豊川市陸上競技場において平成二十六年年度連隊持続走競技会を実施した。

本競技会は、各人の持続走能力の向上を図るとともに、部隊の団結強化及び隊員の士気高揚を図ることを目的とし、連隊ナンバ「四十九」に因んだ四十九キロの駅伝方式で実施、陸上競技場一周四百メートルのトラックを百二十二・五周するコースで行われ、三十四個チーム（一チーム五十一名）が参加、中隊対抗方式（参加チームの平均タイム）で二百四十一名の隊員が競技に臨んだ。



9年ぶりに優勝旗を奪還した第4中隊

渾身の力を振り絞って、最終走者へと襷を繋いだ。デッドヒートが繰り広げられたなか競技を制したのは第四中隊。昨年度まで三連覇していた第一中隊等の追従を振り切り優勝旗を九年前に奪還した。閉会式では、部隊表彰の他、個人としてMVPに第四中隊の杉山三曹が輝いたほか、六名の隊員に連隊長及び最先任上級曹長からそれぞれ敢闘賞が贈られた。

即応予備自衛官招集訓練

平成二十六年年度招集訓練終了

連隊は、二月二十三日から二十七日までの間、各出頭訓練地において本年度最後の即応予備自衛官招集訓練（第十次招集訓練）を実施した。

各中隊は、本年度最後の招集訓練において小隊・分隊単位の部隊訓練、特技訓練等の各個訓練等を実施した。中でも第一中隊は、縮射弾を使用した迫撃砲小隊訓練検閲を行った。第一中隊は、本年度の部隊改編及び重迫撃砲中隊の出頭訓練地集約化（金沢・伊丹駐屯地から伊丹駐屯地のみ）により迫撃砲小隊に多数の転入即応予備自衛官が存在したため、年度当初から段階的に練成し今回の検閲で練度を評価・判定した。

昨年三月二十六日、連隊は増強改編（新編）され、海上・航空自衛隊及び他職種部隊からの転入及び新規採用の即応予備自衛官を多数受け入れた。また、第五中隊の新編、出頭駐屯地を変更する等、招集訓練基盤・環境が大きく変わった年度であった。このため、各中隊は各種制約事項を克服しながら早期戦力化を図るべく段階的に練成を行ってきた。この間、連隊は第二中隊、第三中隊、重迫撃砲中隊、直轄小隊（衛

生・補給）の訓練検閲を即応予備自衛官を含む出動編成で実施し、それぞれ練度を評価・判定するとともに、各部隊の招集訓練における各種事態に戦力発揮できることを確認し、この年度を終了した。



小隊訓練検閲（第1中隊）

射撃分隊

縮射弾による射弾観測

中部方面隊優秀隊員表彰

第三中隊の鈴木誠治即応予備陸曹長は、平成四年三月予備自衛官採用以来、積極的に招集訓練に参加するとともに、予備自衛官として五日間出頭を六回、三十日間出頭を十五回達成し、防衛基盤の育成に大きく貢献したと認められ、一月三十一日、中部方面隊総監部（伊丹駐屯地）において実施された平成二十六年年度表彰式において、表彰された。



山下総監から表彰される鈴木即応予備陸曹長（写真右）<写真提供：中部方面総監部広報室>

招集訓練フォトピックアップ



第1中隊（金沢）

至近距離射撃



第3中隊（信太山）

陣地攻撃（命令下達）



第5中隊（豊川）

地図判読訓練



重迫撃砲中隊（伊丹）

算定手試験

第四陸曹教育隊



各課程教育始まる

生徒入校式

陸上自衛隊高等工科学校を卒業した、生徒四十一名が四月三日、第三期生徒陸曹候補生課程の入校式を行った。陸上自衛官の第一歩を踏み出した生徒達は期待と不安と恐れを胸に秘め、これから三ヶ月陸曹候補生と同様の教育を履修することとなる。四月六日には、第一回五キロ走記録会を実施、工科学校で鍛えた健脚で満開の桜の下、駐屯地内を疾走した。



入校式



入校の抱負を述べる学生



体力検定

第127期1次陸曹候補生入校式



入校式

第一二七期一次陸曹候補生四十七名の入校式が四月三日行われた。各部隊、各職種の将来を担う候補生たちはこれから三ヶ月、陸曹を目指し汗と汗と汗にまみれて教育を履修することとなる。



入校の抱負を述べる学生

基礎英語・上曹課程開始

四月七日基礎英語課程入校式・翌日上級陸曹課程入隊式が行われた。老若男女入り乱れ教育を履修していく。



基礎英語課程入校式



上曹入隊式

第一〇九教育大隊

平成二十七年
一般陸曹候補生
自衛官候補生
着隊

第一〇九教育大隊（大隊長 佐伯二陸佐）は、大津駐屯地において三月二十六日に第八期一般陸曹候補生二百八十六名、三月二十八日に自衛官候補生（女子）百二十五名計四百十一名の新入隊員を受け入れた。
これから大隊は、「熱意と信念」をもって、真に部隊で活躍できる隊員を育成し、誠心誠意をこめて教育に取り組んでいく。



着隊時の自衛官候補生（女子）



階級章位置を班長にアドバイスを受ける自衛官候補生



着隊時の一般陸曹候補生（男子）



受け付け



着隊おめでとう

第一一〇教育大隊

平成二十七年
一般陸曹候補生着隊

第一一〇教育大隊（大隊長 増田二陸佐）は、善通寺駐屯地において、三月二十六日から四月一日の間に、第八期一般陸曹候補生、二八三名を受け入れた。
新隊員たちは大きな荷物を手に、緊張した面持ちでそれぞれの中隊へと向かい、これから三ヶ月間お世話になる班長、苦楽を共に過ごす同期達と初対面した。
これから大隊は、新隊員を一人前の自衛官に成長させるべく、基幹隊員及び支援教官・助教が一丸となり教育に邁進していく。



たくさんの縫い物に苦戦！